

No. 10-1

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 10 - 1

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		5		作成日		27年 4月 30日		
事務事業名		独居老人緊急通報業務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							シート作成者			
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進						予算費目	会計		一般	
									款		3	
主要施策	⑥ 高齢者が住みよい安心なまちづくりの推進						項		1			
							目		2			
個別計画名		高齢者福祉計画										
		介護保険事業計画										
住民との関わり		その他										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	在宅のおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、心身等に何らかの不安がある方				要援護者及びひとり暮らし高齢者等の緊急時に迅速な対応、安全確保、安否確認等日々の暮らしの安心を高める。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
在宅のおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、心身等に何らかの不安がある方を対象に、24時間体制のセンターに異常を知らせることのできる緊急通報装置の設置や、センターからの安否の確認や相談なども行い、地域で安心して自立した生活が送れるための支援を行う。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/>		4年度		～		平成		年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		独居老人等緊急通報装置設置要綱										
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		2,720			2,527			3,054				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		2,126			1,933			2,460			
直接事業費（千円）A		2,126			1,933			2,460				
人件費（千円）B		594			594			594				
内訳	一般職員（人・千円）		0.09 人 594		0.09 人 594		0.09 人 594					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	26年度		27年度	28年度			
						目標	実績	(目標)	(目標)			
	①	緊急通報装置設置台数			台	65	49	65	70			
	②											
③												
説明	緊急通報装置の設置台数を指標とする。											

事業名	独居老人緊急通報業務	シート作成課	長寿福祉課
-----	------------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	心身等に何らかの不安があるひとり暮らし高齢者等の不安を解消し、安心して生活するためにも必要な手段と考え、その必要性は大きいです。	
<b>有効性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	緊急通報装置から24時間体制のセンターに通報が入った際、必要に応じ消防署への救急搬送や緊急連絡先等への連絡を行います。 高齢者の住みよい安心なまちづくりの推進として、有効な施策です。	
<b>達成度</b>	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	緊急通報装置の設置希望者に即時対応しており、達成度は高いです。	
<b>効率性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ひとり暮らし高齢者等の安心を高める事業として必要な施策であり、継続的な事業の実施が必要です。	

本事務事業の実施適切性の説明

緊急通報装置による24時間体制の通報対応、定期的な安否確認や日常生活の相談などにより、心身等に不安のあるひとり暮らし高齢者等の不安の解消を図っています。今後も引き続き事業を実施していく必要があります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	ひとり暮らし高齢者等の安心を高める事業として、事業を継続していく必要があります。今後は、高齢化進展に伴い、ひとり暮らし高齢者等が増加すると予想されることから、持続可能な制度とするため、事業対象者や事業内容、一部利用者負担を含め見直しを検討します。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	ひとり暮らし高齢者等の不安解消の1つの手段として、緊急通報装置はたいへん有効であると考えます。利用実績を検証するとともに、今後の後期高齢者の増加を見据えた事業内容を再検討する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--